

北アルプス日本海広域観光連携会議 第1回広域観光連携専門委員会

平成27年4月17日
糸魚川市役所203会議室

1 開会

2 新任担当者紹介

3 報告

- 3/14 開業記念イベントについて 資料1
- 旅行商品の販売状況について 資料2

4 審議事項

- 平成26年度事業報告、決算（案）について 資料3
- 平成27年度事業計画、予算（案）について 資料4
- 今後のスケジュールについて

4/27（月） 第1回幹事会（14：00～糸魚川市役所）

5/13（水） 総会（16：00～ヒスイ王国館）

その他

5 その他

3月14日 開業記念イベントの様子



駅構内でお出迎え



ジオラマ鉄道模型コーナー



小谷村



上越市(藤商事)



大町市(いーずら大町特産館事業協同組合)



白馬村(道の駅白馬)

旅行商品の販売状況について

2015.3.14
富山から糸魚川へ
つつじ さつき 藤 花めぐり庭めぐり

40年以上続く糸魚川の藤まつり(5月1日～19日間)
藤まつりの開催中、約700メートルの街道沿いに連続1メートルを
超える大藤の藤が150針以上並びます。

親子2代でつづく、月華山 かねこつつじ園
約5,500平方メートルの自宅の庭園にツツジを種直し育て続け、
糸魚川の花の名産です。

「石橋寺」とも呼ばれる護国寺
シワクダツツジなどが見事な庭園式園地、見応え十分です。

名字番所でガイドがご案内
各見学場では、ガイドやスタッフによりご案内、より深く解説いた
します。

出発日	1人別料金	2人別料金	3人別料金
5月10日(日)・12日(火)・14日(木)	38,100円	48,800円	55,600円
	38,100円	48,800円	55,600円
	38,100円	48,800円	55,600円
	38,100円	48,800円	55,600円

日本旅行・ジパング倶楽部
『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』
内容：藤まつり、
月華山かねこつつじ園
(以上、糸魚川市)、
護国寺(朝日町)
出発日：5月10日

2015.3.14
あじさい、ラベンダーめぐり

6月25日(水)・29日(日)、7月5日(日)・10日(金)

出発日	1人別料金	2人別料金	3人別料金
6月25日(水)・29日(日)	49,800円	59,600円	65,800円
7月5日(日)・10日(金)	59,800円	69,600円	75,600円

日本旅行・ジパング倶楽部
『あじさい、ラベンダーめぐり』
内容：相馬御風宅、加賀の井酒造、
大王あじさい園(以上、糸魚川市)、
ハーバルバレーおがわ、
小川温泉元湯ホテルおがわ、
なないろKAN(以上、朝日町)、
黒部宇奈月温泉
出発日：6月25日、6月29日、7月5日、7月10日

B3044 秘境を走る人気のローカル列車に乗車・地底約1,300mから湧き出す秘湯の景観
夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間

第36回蔵まつり

出発日	1人別料金	2人別料金
7/30(水)	39,800円	44,800円

びゅう・大人の休日倶楽部
『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化
にふれる2日間』
内容：高田公園、岩の原葡萄園(上越市)、
フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)、
百河豚美術館(朝日町)、
姫川源流自然探勝園(白馬村)、
大町山岳博物館(大町市)
出発日7月30日

平成26年度 事業報告について

会議の開催

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として7回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成26年4月15日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成26年5月14日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成26年6月30日開催）
- ・ 第4回 広域観光連携専門委員会（平成26年8月19日開催）
- ・ 第5回 広域観光連携専門委員会（平成26年10月2日開催）
- ・ 第6回 広域観光連携専門委員会（平成26年12月11日開催）
- ・ 第7回 広域観光連携専門委員会（平成27年3月10日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に2回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成26年4月24日開催）
- ・ 第2回 幹事会（平成26年12月16日開催）

平成26年度の取り組み

(1) PR用チラシの作成

- ・ 北アルプス日本海広域観光連携会議の設立と連携をPRしていくためチラシ（A4両面カラー）を作成した。

表面



裏面



(2) P R用のぼり旗の製作

- ・ 連携会議のP R用のぼり旗、ミニのぼり旗を製作し露出機会の拡大を図った。



(3) T V番組の放映

- ・ 夏休みの集客と北陸新幹線開業前P Rとして、連携6市の観光情報を首都圏及び北陸・信州エリアに放映。「もうすぐ夏休み・遊びつくそう海と山！」放送日時：6月中旬～7月中旬 SBC 信越放送)

(4 - 1) 誘客キャンペーンの実施 (7/5 ・ JR 大宮駅) 詳細別紙

- ・ JR 大宮駅西口イベント広場において、北陸新幹線の開業と連携会議のP Rを行う。
- ・ パンフレットの配布や連携6市町村の特産品が当たるガラポン抽選会などにより賑わいを創出した。

(4 - 2) 誘客キャンペーンの実施 (1/9 ~ 18 ・ 東京ドーム) 詳細別紙

- ・ 全国の食と祭りをテーマにした国内最大級のイベント「ふるさと祭り東京」に出展。
- ・ 連携6市町村のパンフレット配布や特産品の販売を通じ、北陸新幹線開業情報と連携会議のP Rを行った。

(5) 広域観光P Rの実施

- ・ 連携会議の各団体がそれぞれで行うイベントやキャンペーンにおいて、連携会議の情報を発信し、認知度向上を図った。

(6) ホームページの運営管理

- ・ 内容を見直したほか、新たにフェイスブックを開設し、新幹線開業準備情報のほか、各団体の観光イベントの紹介など新鮮な情報の提供に努めた。

(7) 広域旅行商品の展開

- 9/9～11にかけて、旅行会社の団体ツアー企画担当者や業界誌記者を招き、旅行商品視察会と「新しい旅」発表会を開催した。地域特性を生かした広域旅行商品を提案し、その魅力を伝えるとともに、旅行商品の販売強化を依頼した。(12社13名参加)



- その後の業界誌、マスコミ等の反応
「旅の手帖」11月号掲載 1P (株)旅行新聞社
ニュース放送 2社 BSN(株)新潟放送、UX新潟テレビ21
新聞掲載 5社 読売新聞、新潟日報、糸魚川タイムス、朝日新聞、信濃毎日新聞
- その後の商品販売交渉は以下のとおり
販売開始 (株)びゅうトラベルサービス 2月19～20日 1泊2日JR+バス
販売交渉中 (株)はとバス 貴賓席 7月～8月 1泊2日バス

(8) 広域観光パンフレットの作成

- 個人旅行者が手にもって動けることを想定した、エリア内の魅力を発信する広域観光パンフレットを作成した。



(9) 8/5 W7系車両歓迎見学会

- ・ W7系車両の歓迎見学会に連携会議の構成団体から参加をいただいた。

(10) 10/13 北陸新幹線糸魚川駅完成見学会

- ・ 連携会議市町村内に居住する住民を対象に、新幹線駅舎見学と糸魚川市内の観光を実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進を図る。大町市発着コース 36 名、白馬・小谷発着コース 27 名、朝日町発着コース 19 名、上越発着コース 4 名の計 86 名が参加。

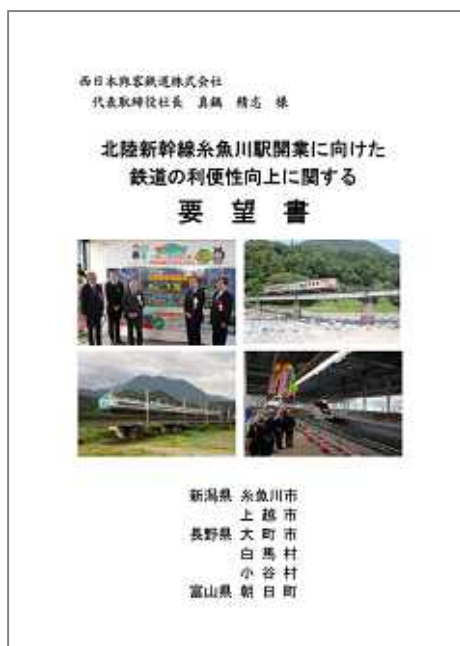


(11) 要望書の提出

- ・ 糸魚川駅の利便性向上と利用促進に向け、「北陸新幹線糸魚川駅開業に向けた鉄道の利便性向上に関する要望書」を J R 西日本、東日本に提出する。

5月30日 西日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長・真鍋精志さま 宛

8月18日 東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長・富田哲郎さま 宛



(12) 認知度調査および開業効果測定事業

- ・ 当地域および北陸新幹線開業前後の認知度調査を行うことで、今後の戦略を立てるうえでの効果検証資料の取得を行う。



(13) スタッフジャンパーの作成

- ・ 連携会議のロゴマーク、キャッチフレーズが入ったスタッフジャンパーを北陸新幹線系魚川駅開業記念事業実行委員会と共同で作成。イベントで着用することでPRに努めた。



(14) 北陸新幹線系魚川駅開業記念イベントの参加 (3/14) 詳細別紙

- ・ 各市町村のマスコットキャラクターによる到着列車のお出迎えや、ステージイベントでの観光PRを通じ、おもてなしと誘客の促進を図る。
- ・ 各市町村から物販出展していただき、販わいを創出するとともに、地元特産品のPRにつなげた。

平成26年度 決算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	10,127,000	10,127,000	0	
1.負担金	6,469,000	6,469,000	0	糸魚川市
	859,000	859,000	0	上越市
	1,073,000	1,073,000	0	大町市
	327,000	327,000	0	白馬村
	113,000	113,000	0	小谷村
	486,000	486,000	0	朝日町
	800,000	800,000	0	新潟県
2.補助金	0	0	0	
3.雑収入	200,888	694,881	493,993	総会交流会費、預金利息
4.繰越金	2,672,112	2,672,112	0	
計	13,000,000	13,493,993	493,993	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1.事業費	11,851,000	10,658,433	-1,192,567	
広告宣伝事業費	4,050,000	3,514,150	-535,850	パンフレット等
誘客宣伝事業費	6,810,000	6,161,447	-648,553	新しい旅発表会、ふるさと祭り等
イベント関連事業費	690,000	682,404	-7,596	市民見学会等
ホームページ運営費	301,000	300,432	-568	ホームページ運営管理
2.連携会議運営費	1,149,000	1,103,398	-45,602	
会議費	300,000	299,390	-610	総会、幹事会、専門委員会
事務委託費	801,000	800,432	-568	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	48,000	3,576	-44,424	消耗品、収入印紙購入
計	13,000,000	11,761,831	-1,238,169	

収入13,493,993円 - 支出11,761,831円 = 差引1,732,162円 は次年度に繰り越す

平成 27 年度 事業計画・予算案

北アルプス日本海広域観光連携会議

平成27年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
	8,089,000	
1. 負担金	5,000,000	糸魚川市
	630,000	上越市
	890,000	大町市
	275,000	白馬村
	94,000	小谷村
	400,000	朝日町
	800,000	新潟県
2. 補助金	0	
3. 雑収入	1,430,838	総会交流会費、預金利息、切手シート売上
4. 繰越金	1,732,162	前年度繰越金
計	11,252,000	

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	10,103,000	
広告宣伝	450,000	パンフレット印刷
誘客宣伝	4,910,000	誘客活動、旅行商品の販売等
イベント関連	942,000	開業後関連イベント等
二次交通	3,500,000	二次交通の整備拡充
ホームページ運営費	301,000	ホームページ管理費
2. 連携会議運営費	1,149,000	
会議費	300,000	総会、交流会等
事務委託費	801,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	48,000	消耗品、事務通信費等
計	11,252,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成27年度事業計画書（案）

（単位：千円）

区分	実施時期	事業名		参照頁	事業費	H27予算額
広域観光PR	6月	広告宣伝	広域観光パンフレットの作成（継続）	1P	450	450
	4月	誘客宣伝	周遊型広域旅行商品の販売促進（継続）	2P	1,000	4,910
	5月		認知度調査および開業効果測定事業（継続）	3P	900	
	5月		出身タレントの活用（継続）	4P	600	
	6月		観光キャンペーンの実施（継続）	5P	1,000	
	7月		記念切手シートの作成（新規）	6P	1,310	
	通年		TV番組の誘致活動（継続）	7P	100	
	通年		広域観光PRの実施（継続）	8P	0	
	通年		HP運営	ホームページ運営管理（継続）	9P	
					5,660	5,660
地域内PR	通年	イベント	出店支援事業（新規）	10P	200	942
	7月		住民見学会の開催（継続）	11P	645	
	3月		開業後記念イベントの参加（新規）	12P	97	
					942	942
二次交通	通年	二次交通	二次交通整備拡充事業（新規）	13P-14P	3,500	3,500
	通年		二次交通ビジョンの策定（新規）	15P	0	
					0	3,500

広告宣伝

広域観光パンフレットの作成（継続）

1 趣旨

当地域及び当会議の認知度向上及び誘客促進を図るため、エリアを網羅した広域観光パンフレットを作成する。

2 事業計画（案）

昨年度作成した”新しい旅”パンフレットの訂正・増刷

(1) 増刷（訂正増刷）回数、部数

1回、30,000部

(2) 規格

A4判 16ページ

(3) 内容

既存のとおり、または周遊ルートの一部差し替え

(4) 市町村へのお願い事項

掲載中の写真の差し替えを希望する場合は、画像を提出
パンフレットの配布について協力賜りたい

3 目標

不特定多数への情報発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			訂正増刷	→								

5 事業費（概算）

450,000 円

誘客宣伝

周遊型広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

新しい観光エリアとしての魅力を伝えるべく、広域観光商品を販売する。

2 事業計画（案）

旅行会社への平成27・28年度商品企画の売り込みと開発

【現在販売中のもの】

事業者	日本旅行・ジパング倶楽部
タイトル	～富山から糸魚川へ～『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』
内容	藤まつり、月華山かねこつつじ園(糸魚川市)、護国寺(朝日町)
出発日	5月10日
事業者	日本旅行・ジパング倶楽部
タイトル	～癒しのひととき 糸魚川から富山へ～『あじさい、ラベンダーめぐり』
内容	相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園(糸魚川市)、 ハーバルバレーおがわ、小川温泉元湯ホテルおがわ、なないろKAN(朝日町)、 黒部宇奈月温泉
出発日	6月25日、6月29日、7月5日、7月10日
事業者	びゅう・大人の休日倶楽部
タイトル	『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間』
内容	高田公園、岩の原葡萄園(上越市)、フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)、 百河豚美術館(朝日町)、姫川源流自然探勝園(白馬村)、 大町山岳博物館(大町市)
出発日	7月30日

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品企画の開発、売込み											

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （ツアー実施協賛金として）

誘客宣伝

認知度調査および開業効果測定事業（継続）

1 趣旨

当地域の認知度調査を行うことで今後の戦略を立てるうえでの効果的資料とする。
北陸新幹線開業の前後で旅行者の意識の変化を数字により把握する。

2 事業計画（案）

< 調査概要 >

平成26年度に実施した同調査を同条件にて実施する。

調査方法 ネットリサーチ

調査対象者 アンケートモニタ会員

対象地域 関東圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

関西圏：大阪府、京都府

沿線都市：群馬県、長野県

北陸三県：富山県、石川県、福井県

対象者数 1,200人（H26年度実績）

調査項目 糸魚川市及び周辺地域の認知度、北陸新幹線開業の認知度、
観光イメージや来訪意欲度等。

3 目標

当地域に対する認知度の把握

北陸新幹線開業前の旅行者の動きの検証

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		準備										
			調査実施									
				集計、報告								

5 事業費（概算）

900,000 円

誘客宣伝

出身タレントの活用（継続）

1 趣旨

タレントの知名度を生かした宣伝を展開することで、当地域の認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- ・糸魚川出身のよしもと芸人「横澤夏子」を起用し、You Tubuを活用したPRを展開。
- ・6市町村のおススメ観光スポット、お店、人などを取材・紹介し、5～10分程度の動画としてYou Tubuで発信する。

【撮影案】

糸魚川市、上越市	⇒	横澤夏子+バックスクリーン（新潟県住みます芸人）
朝日町	⇒	横澤夏子+フィッシュ&チップス（富山県住みます芸人）
大町市、白馬村、小谷村	⇒	横澤夏子+こてつ（長野県住みます芸人）

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		季節に応じて撮影										
		You Tubuにアップ										

5 事業費（概算）

600,000 円

誘客宣伝

観光キャンペーンの実施（継続）

1 趣旨

開業した北陸新幹線のPRと「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力について、認知度の向上と誘客促進を高めるためのPRイベントを開催する。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業と連携会議の紹介のほか、各地域の物産の販売を通じ、当地域の認知度向上と来訪意欲の創出を図る。

関係団体との協力により、安価（施設使用料等）で効果の高いPR活動の実施を目指す。

< 実施地域 >

首都圏、沿線都市、北陸圏を想定

< 具体的には >

ブリッジ新潟（東京都中央区日本橋）、TIC東京（東京都千代田区丸の内）、グランベリーモール（東京都町田市）など。

3 目標

認知度の向上

来訪意欲の創出

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整	→	実施									

5 事業費（概算）

1,000,000 円

誘客宣伝

記念切手シートの作成（新規）

1 趣旨

連携会議オリジナル切手シートの作成、販売を通じて、北陸新幹線開業の話題を広く伝える。

2 事業計画（案）

- (1) 郵便局と共同でオリジナル記念切手シート作成。
一部の観光画像は一般公募により集めることも検討。

【作成案】

- ・ 6市町村の観光資源（風景、祭事等）を撮影したもの 計6種
- ・ キハ52、特急はくたか、寝台特急日本海、臨時寝台特急トワイライトエクスプレス等、当地域に馴染みがり、かつ当地域で撮影された車両 計4種
- ・ 上記10種をひとつのシートに収め、台紙では広域エリアを紹介。
- ・ 切手券面額は82円×10枚

- (2) 販売を連携会議内の郵便局（ネットショップ含む）と糸魚川市観光協会に限定し来訪に繋げる。

3 目標

認知度向上
話題喚起

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				打合せ、制作								
							販売					

5 事業費（概算）

1,310,000 円

<内訳>

- ・ 単価1,230円×1,000シート（最低ロット）=1,230,000円

※売上は連携会議予算の収入に計上する

- ・ ロイヤリティ（販売価格の3%）

⇒1,230円×3%×1,000枚=36,900円×2社（JR東西、北越急行）=73,800円

誘客宣伝

T V番組の誘致活動（継続）

1 趣旨

T V番組での放映を通じ、当地域の魅力を紹介することで来訪意欲の創出ならびに誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業を受けメディアへの露出増が期待されるため、制作側との思惑の一致を図り撮影の誘致を図りたい。なお、必要に応じて協賛といった形で経費協力するものとする。

- ・北陸新幹線の開業により旅行圏域の広がりを伝え、地域の魅力を紹介
- ・糸魚川駅を拠点に各地域と近距離で楽しめることを強調
- ・北陸新幹線のほか、大糸線、えちごトキめき鉄道の利用促進も狙う

3 目標

認知度の向上
誘客促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	情報提供と営業活動											

5 事業費（概算）

100,000 円

誘客宣伝

広域観光PRの実施（継続）

1 趣旨

イベントやキャンペーンを通じて、北陸新幹線の開業と連携会議のPRを図り認知度の向上に努める。

2 事業計画（案）

連携会議の各団体が首都圏や関西圏で実施する集客力のあるイベントやキャンペーンにおいて、北陸新幹線開業情報と連携会議の魅力を発信し露出機会を増やすことで認知度向上を図る。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出、パンフレットの配布
- (2) 連携会議エリアの観光情報の紹介

なお、合同で出展することでより効果的なPRができるものについては、合同参加を検討する。

【合同参加が考えられる例】 ※H26年度の例による

名称	開催月	参加市町村
・首都圏JR駅キャンペーン	7月	小谷村、白馬村
・北陸・関西方面JR駅キャンペーン	8月	小谷村、白馬村
・ツーリズムEXPOジャパン（東京）	9月	糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市
・首都圏JR駅キャンペーン	12月	小谷村、白馬村
・北陸JR駅キャンペーン	12月	糸魚川市

3 目標

不特定多数への情報発信と誘客促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												

5 事業費（概算）

0 円 （必要に応じて流用）

HP運営

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

訴求力のあるコンテンツを発信する魅力あるサイトを運営することで、北陸新幹線開業及び連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより連帯感の醸成と露出度の向上を図る。
- (4) オリジナル動画等を配信することで話題性を高める。

3 目標

認知度向上
 連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月＝60,000円

イベント

出店支援事業（新規）

1 趣旨

連携会議市町村、もしくは連携会議内に所在の事業者等による、糸魚川駅周辺で開催されるイベントへの出店支援を行い、開業後の賑わいを創出する。

2 事業計画（案）

助成対象	糸魚川市外の民間事業者、NPO、市民団体ほか連携会議が認める団体
助成内容	イベント等への出店に要する経費のうち、必要と認められるもの。 (備品レンタル料、交通費などを想定。飲食費は対象外。)
助成額	対象事業費の1/2、もしくは5万円のいずれか低い方の額
対象期間	平成28年3月31日まで

- (1) 補助要綱の整備
- (2) イベントの開催を各自治体広報等を通じて告知
- (3) 交付決定通知

3 目標

賑わいの創出
連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	随時											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・ 2団体×50,000円、20団体×5,000円

イベント

住民見学会の開催（継続）

1 趣旨

連携会議市町村内に居住する住民を対象に糸魚川駅及び周辺観光地の見学ツアーを実施し、市民意識の醸成を図る。

2 事業計画（案）

平成26年度事業と同様、事務局が主催とする。

(1) 関係機関との調整等

- ・糸魚川市観光協会へジオパークガイドの協力要請
- ・運行体制の確認と車両の確保
- ・市町村ごとに添乗員1名の協力が必要

(2) 周知等

- ・広報による周知と募集

(3) 運行計画

< 概 要 >

実施日	秋の観光シーズンの土曜又は日曜日（日帰り・1回催行） ※開業後記念イベント（10月予定）に合わせるか？ ※国際ご当地グルメグランプリ2015in糸魚川（10/3～4）に合わせるか？
コース	・大町、白馬、小谷方面からバス2台 ・上越方面、朝日方面からバス各1台
対象者	連携会議市町村内に居住する住民
募集人数	バス1台につき25～40名
内 容	・糸魚川駅の見学と体験 ・周辺地域の観光（フォッサマグナミュージアム見学等）
参加費	大人1人あたり2,000円～2,500円（昼食代・入館料分）

3 目標

住民意識の醸成、糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				プラン策定、手配 →								
						周知、募集、催行 →						

5 事業費（概算）

645,000 円

<内訳>

- ・バス借上代 130,000円/日×4本=520,000円
- ・ガイド料 5,000円/日×4コース=20,000円
- ・旅行災害保険 250円/人×100人=25,000円
- ・入館料 400円×2カ所×100人=80,000円

イベント

開業後記念イベントの参加（新規）

1 趣旨

開業後の盛り上がりを発信するとともに、連携会議エリアの交流人口の拡大に繋げる。

2 事業計画（案）

(1) 開業後記念イベント（平成27年10月頃実施予定）

◇ 実施概要 ※想定

糸魚川及び連携会議ならではの内容で話題性を高め、開業後の盛り上がり
を市内だけではなく市外、県外にアピールしていく。

(2) 開業1周年記念イベント（平成28年3月頃実施予定）

◇ 実施概要 ※想定

開業1周年を祝うとともに、糸魚川及び連携会議ならではの内容で話題性
を高め、開業後の盛り上がり市内だけではなく市外、県外にアピールして
いく。

3 目標

情報発信
交流人口の拡大

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						準備				準備		
						→	実施			→	実施	
							→					→

5 事業費（概算）

97,000 円

二次交通

二次交通整備拡充事業（新規）

1 趣旨

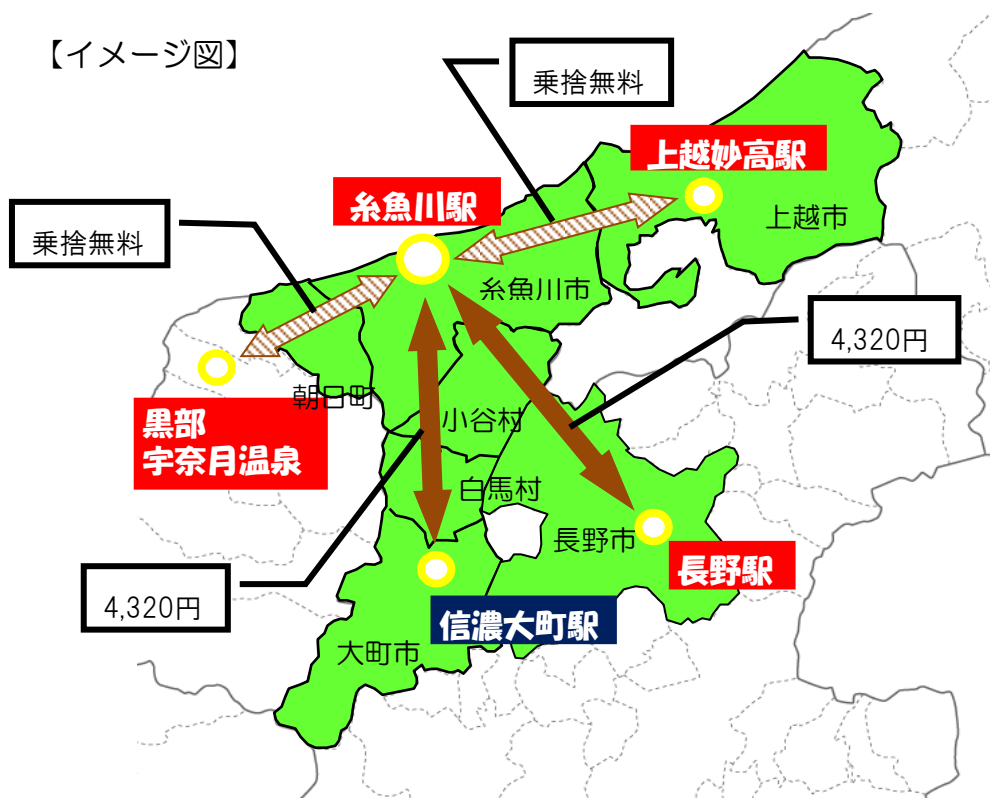
来訪者にオンデマンドの利便性を提供するため、二次交通の整備、あるいはサービスの提供を行う。

2 事業計画（案）

(1) レンタカー利用者の乗捨て料金の補助

- ・糸魚川営業所（JR西管内）と信濃大町営業所および長野営業所（以上、JR東管内）間で、糸魚川営業所を発営業所、もしくは着営業所とする乗捨て利用に対し、乗捨て料金の全額を補助する。
- ・実施期間を夏季シーズン（7/25～8/31）、紅葉シーズン（9/19～11/23）に限定し、試行的に実施する。

【イメージ図】

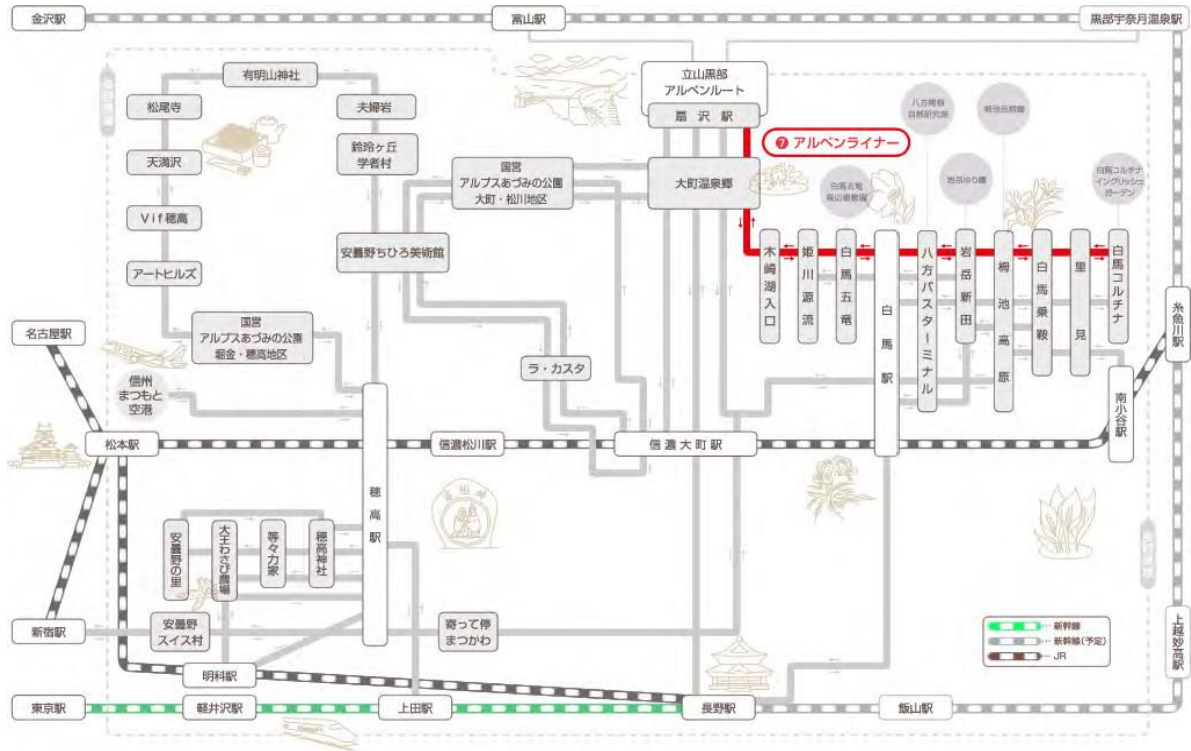


(2) レンタカー利用者への施設優待券等の提供

- ・連携会議エリア内に存する観光施設の割引利用券（美術館、博物館、資料館等）を提供することで、観光流動を創出するとともにエリアの活性化を図る。

(3) 特急バスの南小谷駅までの延伸の検討

- ① 扇沢～白馬コルチナ間を運行するアルペンライナー（夏季限定・特急バス白馬扇沢線）をJR南小谷駅まで延伸し、双方向での流動性を高める。



② 長野駅東口～白馬乗鞍間を運行する特急バス長野－白馬線をJR南小谷駅まで延伸し、双方向での流動性を高める。

■現在のルート：長野駅東口→白馬駅→白馬八方バスターミナル→白馬乗鞍

■運行期間：4月1日～12月中旬

(4) 鉄道見所マップの作成

- ・大糸線、えちごトキめき鉄道路線における利用者のみが味わえる見所マップを作成する。

3 目標

利用者サービスの向上
交流人口の拡大

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各事業者との協議、調整												
鉄道見所マップの作成												

5 事業費（概算）

3,500,000 円

<内訳>

- ・レンタカー補助 5,000円×100件=500,000円
- ・特急バス運行負担金 1,500,000円
- ・鉄道見所マップ 1,500,000円

二次交通

二次交通ビジョンの策定（新規）

1 趣旨

二次交通の可能性と充実化を図るため、将来に向けた実効性の高い交通ビジョンを策定する。

2 事業計画（案）

- ①連携会議エリアにおける二次交通のあり方と可能性を検討し、青写真を描く。
- ②交通事業者（鉄道、バス、タクシー等）を交え、糸魚川駅を中心とした二次交通網の検討と実現化に向けた協議を行う。

【検討案】

大糸線の魅力アップ対策の検討（駅舎アート、車内ラッピング、ガイド添乗等）
 エリア内における観光流動の創出と送客（誘客）する仕組みづくりの検討
 シャトルバス、定期観光バス、観光タクシー、企画切符等の検討・提案
 新幹線利用者を対象とした割引特典等の検討・提案
 JRへのリゾート列車、びゅうバス等の運行要請

3 目標

二次交通の環境整備に向けた検討
 周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2015年（平成27年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討												

5 事業費（概算）

0 円